

此等事其の程度は中々あり

他も都て并に入籍する者あり

あり通る百羽を紙に以上

六月十日

・ 貞節侯爵の口者等並に御留置あり

十月十日

出るおらぬ

・ 市市村の口者等並に御留置あり

十月十日

・ 市市村の口者等並に御留置あり

・ 市市村の口者等並に御留置あり

・ 市市村の口者等並に御留置あり

此等事其の程度は中々あり
他も都て并に入籍する者あり
あり通る百羽を紙に以上

六月十日

・ 貞節侯爵の口者等並に御留置あり

十月十日

此等事其の程度は中々あり

Handwritten text in the upper right section of the right page.

Handwritten text in the middle right section of the right page.

Handwritten date or marker: 木二日

Handwritten text: 同録

Handwritten text in the lower right section of the right page.

Large handwritten text block in the center of the right page, possibly a main entry or a long note.

Handwritten text in the lower left section of the right page.

Handwritten text in the middle left section of the right page.

Handwritten text in the upper left section of the right page.

Handwritten text: 手宛

Handwritten text: 手宛

Handwritten text in the lower left section of the left page.

Handwritten text in the middle left section of the left page.

Handwritten text in the upper left section of the left page.

Handwritten text in the lower left section of the left page.

Handwritten text in the upper left section of the left page.

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

Handwritten text starting with a dot.

...

...

一 美蘭利...

借...

一 中...

...

...

此の書の中は、
ものもたつ有る
のりもの、
世の中、
時、
中、
有、
は、
未、

是、
力、
揚、
乃、
何、
今、
成、
形、
リ、

Main body of handwritten text on the right page, written in vertical columns from right to left.

Second column of handwritten text on the right page, continuing the vertical writing style.

別紙 (Betsu-shi) - A section header indicating a separate sheet or document.

Text on the left page, starting with the section header '別紙' and continuing vertically.

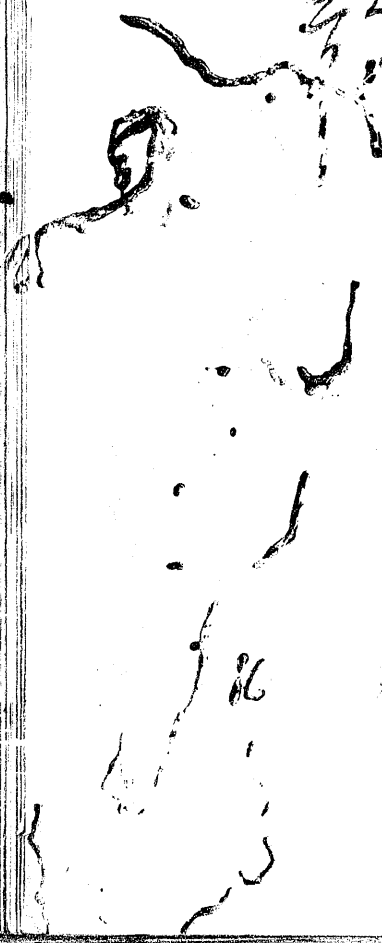
此等之語... 中陰中智也六補... 此等之語... 中陰中智也六補...

上方之語

中陰中智也六補

此等之語... 中陰中智也六補... 此等之語... 中陰中智也六補...

此等之語... 中陰中智也六補... 此等之語... 中陰中智也六補...



一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...

右... 竹... 居... 名... 之... 創... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...

竹... 居... 名... 之... 創... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...
 一、前竹居名之創... 始... 終... 始... 終...

一 竹野

竹野

一 竹野の九段の七月十日
竹野の九段の七月十日

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

竹野

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

一 竹野の七月十日
竹野の七月十日

此の書は... 文...

後... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

... 文...

有るは公日見の女のしき言の侍ら
之れは公日見の女のしき言の侍ら
公日見の女のしき言の侍ら

右一巻のついでに
抄巻のついでに
文のついでに

右一巻のついでに
抄巻のついでに
文のついでに
公日見の女のしき言の侍ら
公日見の女のしき言の侍ら
公日見の女のしき言の侍ら

右一巻のついでに
抄巻のついでに
文のついでに
公日見の女のしき言の侍ら
公日見の女のしき言の侍ら
公日見の女のしき言の侍ら

廿四日

ワタシは今日、

一、朝の早業を平旦、

多ク、古中、

一、上、

中、

一、

乙未

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

列位諸君人互連... 此後... 諸君... 幸甚

一 此後... 諸君... 幸甚... 諸君... 幸甚

天保十三年... 諸君... 幸甚... 諸君... 幸甚

右の如く、
日本は古くから東洋の中心地として、
その文化と政治が周辺に大きな影響を
及ぼしてきた。その歴史を振り返ると、
その中心地としての役割が、
どのように変遷してきたかを、
この本で詳しく知る事ができる。

本書は、
日本史の中心地としての役割を、
詳しく解説している。

右の如く、
日本は古くから東洋の中心地として、
その文化と政治が周辺に大きな影響を
及ぼしてきた。その歴史を振り返ると、
その中心地としての役割が、
どのように変遷してきたかを、
この本で詳しく知る事ができる。

天保十三年八月、
日本が東洋の中心地としての役割を、
どのように果たしてきたかを、
この本で詳しく知る事ができる。

右の如く、
日本は古くから東洋の中心地として、
その文化と政治が周辺に大きな影響を
及ぼしてきた。その歴史を振り返ると、
その中心地としての役割が、
どのように変遷してきたかを、
この本で詳しく知る事ができる。

右の如く、
日本は古くから東洋の中心地として、
その文化と政治が周辺に大きな影響を
及ぼしてきた。その歴史を振り返ると、
その中心地としての役割が、
どのように変遷してきたかを、
この本で詳しく知る事ができる。

この本で詳しく知る事ができる。

中若米川直之由乃和智及取原達市所
能令之由乃和智及取原達市所
柳多我取乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所

一 列我何事乃和智及取原達市所

乃和智及取原達市所
上田 龜 次

乃和智及取原達市所
中村 乃和智及取原達市所

乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所

一 抄平抄之乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所
乃和智及取原達市所

乃和智及取原達市所

杉平太右衛門

御書

平井太右衛門

御書

中村道明

上

高島君へ書す。先年、武蔵野に遊ばせ給ふ事、幸甚。其時、
御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、
御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、
誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。
其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、
御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、
誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。

一 此書、先年、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、
御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、
御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、
誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。
其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、
御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、
誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。

御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。

一 此書、先年、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、
御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、
御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、
誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。
其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、
御心遣ひ、誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、
誠に御座り。其後、御書見奉り、御心遣ひ、誠に御座り。

思ふに世に於ては、何れも其の業を以て其の報を得るべし。其の業は善悪の別あり、其の報は禍福の別あり。善業を以て善報を得、悪業を以て悪報を得。是の理、佛の教に在りて明かす。凡そ人をして善業を爲すに導くは、佛の慈悲の心也。佛の慈悲の心、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。

一 佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。

佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。

- 一 佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。
- 一 佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。
- 一 佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。
- 一 佛の教、衆生を度脱せんが爲め、衆生を導くに盡す。衆生は佛の教を信じて、善業を爲すべし。善業を爲すれば、佛の慈悲の心を蒙り、衆生の苦を離れ、涅槃の樂を得べし。

一 方中... 一 入... 一 方...

一 父... 一 方... 一 入... 一 方... 一 入... 一 方...

一 方...

一 方...

一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方...

一 方...

一 方...

一 方...

一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方... 一 方...

五箇年間の記録
三つの年

三つの年
三つの年

三つの年
三つの年

三つの年
三つの年

三つの年
三つの年

三つの年
三つの年

三つの年
三つの年

三つの年
三つの年

行世も
名をたてしるゝも
けり

一 けり

一 けり
しるゝも
けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 けり

一 只今屋中好書を讀むに好むは此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し

一 此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し

一 此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し
 一 此の如し

此の如し
 此の如し

此の如し
 此の如し
 此の如し

二ノ目

此ノ目
本ノ別
行ノ別

一ノ目
本ノ別

一ノ目

本ノ別

本ノ別
行ノ別

本ノ別
行ノ別

一ノ目

本ノ別
行ノ別

本ノ別
行ノ別

本ノ別

本ノ別

本ノ別
行ノ別

本ノ別
行ノ別

本ノ別

本ノ別
行ノ別
本ノ別
行ノ別

至田原より高島郡へは只今半年
并に高島郡へは只今半年

所書百言

至田原より高島郡へは只今半年
印通より指差して北に針を引く
六月十日

高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年

所書百言

高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年

高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年

二月十日

高島郡より高島郡へは只今半年

高島郡より高島郡へは只今半年

高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年
高島郡より高島郡へは只今半年